



☆ 春がきた!

ソメイヨシノは散ってしまいましたが、街中、すっかり春の装いになりました。浮かれてばかりはいられませんが、それでも、ワクワクがとまらないのが、春ですね。そこで、今回は、いろいろな春の絵本を集めてみました。それとともに、昨年、文化功労者に選ばれ、今年1月に亡くなられた松岡享子さんの作品も掲載し、ご冥福をお祈りしたいと思います。



春、はる、春



絵本・ほわほわさくら

ひがしなおこ作、きうちたつろう絵、くもん出版

空いっぱい桜の花。そこからひとひら花びらが、ほわほわほわんと舞い落ちてきます。落ちた花びらは手に乗ったと思ったら、また風に飛ばされて、花びらと追いかっこ。

ピンクを基調とした淡い色彩の絵と、詩情豊かな文章で、春のぼかぼかとのどかな雰囲気を描き出しています。

絵本・はるがきた

ジーン・ジオン文、マーガレット・フロイ・クレアム絵、こみやゆう訳、主婦の友社

カレンダーでも春はすぐそこのはずなのに、街は灰色で、どこにも春は見つかりません。人々も暗くずんできています。その時、一人の男の子がいいことを思いつきます。それは……。

お馴染み、『どろんこハリー』のコンビによる絵本。春がやってくるワクワク感がいっぱい詰まっています。

絵本・ちょうちょうひらひら

まど・みちお文、にしまきかよこ絵、こくま社

春風に乗って、ちょうちょうがひらひら、うさちゃんにとまって、うさちゃんがうふふ。次に、しかさんにとまって……。

童謡「ぞうさん」でおなじみのまど・みちおさんの絵本。やさしく、リズムカルな文章に、にしまきかよこさんの淡い色彩の絵がよくあっていて、おだやかな気持ちにしてくれます。ごく小さな子に。

絵本・たいへんなひるね

さとうわきこ作・絵、福音館書店

カレンダーはもう4月だというのに、まだ雪が降っています。外に出て昼寝がしたいばばあちゃんは、森の動物たちを呼び出します。

元気なばばあちゃんが活躍するシリーズの中の一冊。やっと来た楽しい春を存分に味わえる愉快的な絵本。大がかりな昼寝のお話です。



絵本・おふろだいすき

松岡享子作、林明子絵、福音館書店

まこちゃんが、あひるのプッカとお風呂に入って体を洗っていると、突然、お湯の中から大きなカメが現れます。続いて、ペンギン、オットセイ、カバ……とやってきて……。

子どもの空想の世界をのびのびと描いた絵本。やさしく、柔らかな絵が、湯気に包まれているような、ふんわりと温かな雰囲気を盛り上げてくれます。今年1月に亡くなられた松岡享子さんの作品です。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください!



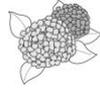
次回は
時間
場所

5月21日(土)・6月18日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 視聴覚室

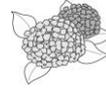


☆ 雨のち晴れ

とうとう梅雨入りしました。しとしと、じめじめの季節です。だからといって、滅入ることばかりではありません。屋根や傘にあたる雨の音、しっとり濡れた空気の匂い、そして、雨上がりの後の虹、じっくり感じてみると、楽しいこともたくさんあります。そこで、今回は、雨が楽しくなる絵本を集めてみました。親子で絵本と一緒に雨を楽しんでみてください。



雨は楽し



絵本・ **あめふりさんぽ**
えがしらみちこ作. 講談社

“とん、とん、とん”て、雨が呼んでるよ。お気に入りの傘持って、長ぐつはいて、カッパ着て、さあ、雨の日のお散歩へ出かけよう！ かたつむりたちとお話して、みんなで、美しいあじさいの屋根の下で雨宿り。

透明感のある水彩画と、楽しい雨音が織りなす、梅雨ならではの散歩のお話です。

絵本・ **かさもっておむかえ**
征矢清作. 長新太絵. 福音館書店

急に雨が降り出したので、かおるは駅までお父さんをお迎えに。電車は次々とやってきても、お父さんは帰ってきません。待ちくたびれてベンチに座ったかおるの前に、オレンジ色の猫がやってきて……。

原色で、単純化された絵が、日常の隣にある空想の世界へ誘ってくれます。

絵本・ **くんちゃんのにじ**
ドロシー・マリノ作. まさきるりこ訳. ペンギン社

虹の根元には金のつまった壺が埋まっている、と小鳥から聞いたくんちゃんは、お鍋を持って、虹の根元を探しに出かけます。リス、ウサギ、シマリスに聞きながらくんちゃんが見つけたのは……。

やさしい線画と一色のみ淡彩で描かれた絵本。くんちゃんの子どものらしい発想がかわいらしい一冊です。

絵本・ **あかいかさ**
ロバート・フライト作. しみずまさこ訳. ほるぷ出版

女の子が赤い傘を持って出かけると、“ほら、ほら！ ふってきた。”

女の子が開いた傘に、イヌ、ネコ、ニワトリ、…と次々に動物たちがやってきて、みんなで楽しい雨宿り。やがて雨が止んできて……。

暖かく、やわらかい線画に、傘の赤だけが印象的な絵本。幼い子にもどうぞ。



絵本・ **かえるがみえる**
まつおかきょうこ作. 馬場のほる絵. こぐま社

“かえる”に“える”の付く動詞を添えた短文で綴った、ナンセンスな言葉遊びの絵本。リズムカルな文章と、線画の、ユーモラスで表情豊かな絵がよく合っていて、楽しい絵本です。姉妹編で、時代劇仕立ての『いまはむかしさかえるかえるのものがたり』もご一緒にどうぞ。

☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は **7月16日(土)・8月20日(土)・9月17日(土)**
時間 **午後3:00～3:30**
場所 **西部図書館 お話し会のへや**





みみずく通信

No.111

2022.7.16

発行：すばなしの会みみずく

HP：https://subanashi.ml/

☆ 楽しい夏

今年は梅雨が短くて、あっという間に夏になってしまいましたね。子どもたちにとっても楽しい夏休みもやってきます。そこで、今回は、夏に読みたい絵本と、夏休みを利用して読んでもらいたい本を選んでみました。今年の4月に亡くなったデビッド・マッキーの作品もご紹介しましたので、他の作品も併せて読んでみてください。



夏・なつ・夏!



絵本・うさこちゃんとうみ

ディック・フルーテン文・絵、石井桃子訳、福音館書店

ある日、うさこちゃんはお父さんに、砂丘や貝のある大きな海へ連れて行ってもらいます。水着に着替えたうさこちゃんは、大きな砂山を作ったり、貝を拾ったり楽しい一日を過ごします。

単純化された原色の絵と、簡潔でリズムカルな文章で、海辺の一日を描いた絵本。幼い子に。

絵本・スイミー

～ちいさなかしこいさかなのはなし～

レオ＝レオニ作、谷川俊太郎訳、好学社

小さな黒い魚、スイミーは、兄弟たちと一緒に暮らしていました。ところが、ある日、そこへ大きな魚がやってきたため、スイミーはひとりぼっちになってしまい……。

コラージュが美しい絵本。小さくても、賢く、勇気のある魚のお話です。

絵本・海へのあさ

ロバート・マックロスキー文・絵、石井桃子訳、岩波書店

ある朝、サリーが目を覚ますと、歯が一本抜けかかっています。ところが、その日はお父さんとバックス・ハーバーへ行く日でした。サリーはいけなくなったらどうしようと心配しますが……。

単色の絵は、力強く、美しく、素晴らしい大自然の中で暮らす、小さな姉妹のいる家族をおおらかに描いた絵本です。

絵本・ぞうのエルマー

デビッド・マッキー文・絵、きたむらさとし訳、BL出版

エルマーはパッチワークのゾウです。黄色にオレンジ、赤にピンク……とカラフルですが、ある日、普通のゾウと同じゾウ色になってみたいと思いたち……。

自分らしさの大切さを教えてくれる絵本。エルマーのパッチワークも楽しげな、人気シリーズの最初のお話です。



絵本・へそもち

渡辺茂男作、赤羽末吉絵、福音館書店

雲の上に住む雷は、雨を降らせるのが仕事。けれども、雨を降らせるだけではなく、いたずらをしたり、おへそをとったりと、人々を困らせていた。ところが、ある日、和尚さんに捕まってしまう……。

画面をいっぱいに使った大胆な構図と、お話にあった絵が素晴らしい絵本です。



★ すばなし会のお知らせ

※ 次回は、2022年 8月 20日（土）、9月 17日（土）、10月 15日（土）です。



☆ まだまだ楽しい本はたくさんあります。少し難しい本もありますが、せつかくの夏休みです。チャレンジしてみてください。

科学絵本・ホネホネ絵本

スティーブ・ジェンキンス作、千葉茂樹訳、あすなろ書房

いろいろな動物の骨を、美しい切り絵で紹介した科学絵本です。実物大の大きさと、様々な動物の骨を比較したり、206個のヒトの骨を全部出して、組み立ててみると、構成も凝っています。中でも、折り込み4ページに、実物大で再現された、2メートルのニシキヘビの骨格は、小型のものとはいえ、圧巻ですよ。

科学絵本・せいめいのれきし

～地球上にせいめいがうまれたときから
いままでのおはなし～
バージニア・リー・バートン文・絵、いしいももこ訳、岩波書店

「地球上に生命が生まれた時から今までのお話」を、5幕36場の舞台劇の形式で描いた絵本。生命の歴史を、大胆なデザインの丹念な美しい絵で、小さい子どもにも分かるように構成しています。連綿と続いてきた生命の環は、読者自身へとつながり、「この後は、あなた方のお話です。」と結ばれます。

科学読物・星座をさがそう

藤井旭著、あかね書房

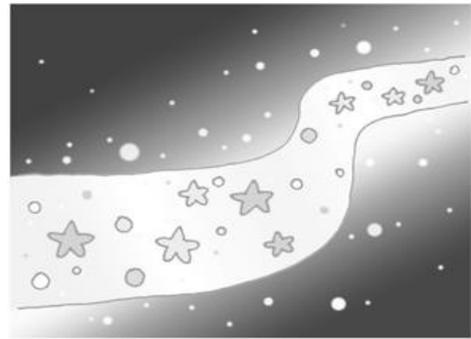
星から星へ、次々と線を結んでいくと、神話で活躍する人間や動物の姿が浮かび上がってきます。それが星座です。この本は、その星座について、美しい写真を使って説明しています。四季折々、東西南北のさまざまな星座の見つけ方、星座にまつわる物語も読むことができますよ。

科学絵本・ぼぼぼあちゃんのアイス・パーティ

さとうわきこ作、佐々木志乃協力、福音館書店

今日はこの夏一番の暑さと聞いて、ぼぼぼあちゃんはいいことを思いつきます。それは、みんなを集めてアイス・パーティ。氷のお菓子を作ること。凍らせるのは食べ物ばかりではありません。おもちゃや野の花まで。

ご存知、ぼぼぼあちゃんのシリーズの中の一冊。ぼぼぼあちゃんたちのように実験してみたくなる楽しい絵本です。



科学読物・知って楽しい花火のえほん

冨木一馬作、山田ちづこ絵、あすなろ書房

夏の夜空に、パッと、と美しく開く花火。作り方を知っていますか？ 材料は？ この本は、花火の作り方から打ち上げ方、種類、歴史まで、花火についてのさまざまな疑問を、美しい写真とともに分かりやすく解説しています。ちょっとした豆知識も出ていて楽しいですよ。



☆ すばなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来て下さい。



次回は 2022年 8月 20日、 9月 17日
10月 15日
時間 午後 3:00 ~ 3:30
場所 西部図書館 視聴覚室